

熊本地震から10年 シンポジウム

参加費
無料

2026年4月19日（日）午後2時～午後5時
会場：熊本市国際交流会館7階ホール

2016年4月14日と16日、私たちの街を大きな揺れが襲いました。

あの時、言葉や文化の壁に直面しながら避難生活を送った外国人住民がいたことを、覚えていますか？

あれから10年。本シンポジウムでは、まず当時の過酷な状況を経験した外国人住民や、最前線で支援に奔走した方々、そして客観的な視点で街を見つめてきた新聞記者の方々をゲストに迎え、あの日について語っていただきます。

その後、基調講演として日本各地の震災現場で外国人支援の専門家でダイバーシティ研究所代表理事、復興庁復興推進参与でもある田村太郎氏による基調講演、そして「これからの熊本のために、日本人が今すべきこと」を考えるパネルディスカッションの3部構成で開催します。「もし明日、また大きな地震が起きたら？」その時、隣にいる外国人住民と手を取り合える関係を、今ここから一緒に作り始めませんか。

基調講演

【基調講演テーマ】

「阪神淡路大震災～能登半島地震」までの支援経験から考える
地域と外国人住民の共助とは？

【基調講演者】

ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎氏



～基調講演者略歴～

兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供を機に、1995年「多文化共生センター」を設立。

自治体国際化協会参事等を経て、2007年にダイバーシティ研究所を設立。代表理事として企業や自治体による「人の多様性配慮」の推進に携わる。

復興庁発足後は上席政策調査官、2014年より復興推進参与を兼務。

共著に『好きなまちで仕事を創る』『多文化共生キーワード事典』『自治体施策とユニバーサルデザイン』『阪神大震災と外国人』などがある。

お問い合わせ・お申込み

(一財) 熊本市国際交流振興事業団

☎ 096-359-2121

✉ pj-info@kumamoto-if.or.jp

ホームページからも
お申込みできます



熊本地震から10年 シンポジウムスケジュール

第一部
熊本地震を振り返る
～熊本地震時の体験～
午後2時～午後2時40分

【発表者】

- ①熊本日日新聞社
統合編集本部長 渡辺 直樹 氏
- ②特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア
団体ネットワーク代表理事 樋口 務 氏
- ③KUMAMOTO KURASU 副会長
テブコタ・ハリ 氏
- ④一般財団法人熊本市国際交流振興事業団
常務理事 八木浩光 氏

第二部 基調講演
午後2時時50分～午後4時

「阪神淡路大震災～能登半島地震」までの支援経験
から考える地域と外国人住民の共助とは？

【基調講演者】

ダイバーシティ研究所代表理事
田村太郎氏

第三部
パネルディスカッション
午後4時10分～午後5時

【パネルディスカッション テーマ】
～外国人住民を共助の担い手に～

【パネリスト】

- ①熊本日日新聞社
統合編集本部長 渡辺 直樹 氏
- ②特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア
団体ネットワーク代表理事 樋口 務 氏
- ③KUMAMOTO KURASU 副会長
テブコタ・ハリ 氏
- ④一般財団法人熊本市国際交流振興事業団
常務理事 八木浩光 氏

【コーディネーター】

ダイバーシティ研究所代表理事
田村太郎 氏

登壇者紹介



渡辺 直樹 氏
熊本日日新聞社統合編集本部長



樋口 務 氏
特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア
ネットワーク (KVOAD) 代表理事



テブコタ・ハリ 氏
KUMAMOTO KURASU (副会長)



八木 浩光 氏
(一財)熊本市国際交流振興事業団常務理事



ホームページからも
お申込みできます

